

お知らせ

次回アチコタネーゼ朝市は7月9日(日)7時から開催。

岩 沢 通 信

第56号

2018年(平成30年)5月25日創刊
発行 岩沢アチコタネーゼ
岩沢地域振興協議会・岩沢分館
編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

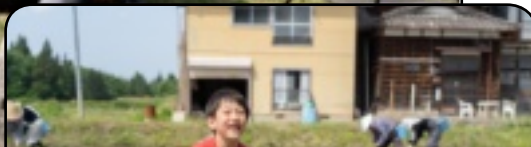
岩沢アチコタネーゼ田植え交流会



5月27日、岩山の田植えもすっかり終わりと変わったが、この日のために残しておいた田んぼには綺麗に水が張られていた。昨年までは外之沢での棚田による交流を行っていたが、今更に管理してもらった山田公博さんが離農したため、会場が岩山に変更。しかし、場所が変わっても通ってくれる人は変わらず。田植え交流のきっかけを作ってくれた家族も子どもを連れ

場所は変更になったが交流は続く

ての久しぶりの参加で、最後はパンツ一枚になり、泥だらけで田植え？を行った。今回は新潟県庁の地域政策課から案内があった、プロのカメラマンに派遣を依頼。素晴らしいショットを多数残してくれた。夜は、へんどんを会場にして懇親会を開催。翌日、参加者は次の再会を約束して東京や県外へと帰っていった。



フードドライブで野菜受付開始



フードバンクおぢやでは岩沢住民センターにフードバンクの寄付BOXを設置し協力をお願いしている。今シーズンもこれらの食



品に加えて野菜の回収を開始した。昨年も多くの寄付があり係では今年も期待している。基本は毎週水曜日の夕方に担当者物引き取りに来るが、品物が多き場合には土日祝日の開館時間にも受け付ける。

アチコタネーゼ朝市を開催



6月11日、今年度最初のアチコタネーゼ朝市が山紫隣のチ庫ホールにて行われた。この日は朝から生憎の雨模様。そのため商品の販売はホール内で開催することとなった。朝6時に集合した会員は、ホール内のテーブルを配置して、商品を並べる準備を開始。久しぶりの朝市にオープンの7時前には既に大勢の常連さん?が来場し、商品を買い求めていた。今度は用意された休憩スペースでコーヒーを飲みながら、おしゃべりタイムに突入。これは地元住民の憩いの場所としても大切なイベントである。



デイホームいわさわ運営協議会

5月30日、令和4年度デイホームいわさわ運営協議会総会が住民センターで開催された。事務局からは令和4年度の事業実績と決算報告が行われ、続いて令和5年度の事業計画と予算案が示され全てが承認された。会議では役員改選も行われ、長年運営委員長を務めた小泉一政さんが総会をもって退任し、

新しく小泉武夫さん(桂)が会長として就任することとなった。デイホームいわさわでは引き続き、参加者を募っているとのこと。お問い合わせは住民センターまで。



岩沢桜峰学級開講式開催

5月19日小千谷市公民館事業である令和5年度の「桜峰学級」の開講式と講演会が開催された。始めに担当課の課長で、元地域振興支援職員として岩沢を担当した波間文化スポーツ課長から挨拶があり、岩沢に勤務

したことを懐かしく話した。この日のアトラクションは市内だけでなく広く県内外で活躍する穂波会が唄と踊りのステージを繰り広げ、参加者から多くの拍手を受けていた。

次の学級は6月27日に市外研修として上越方面にバスで行くとのことである。



編集後記

先月末に休みを取って東京で開催された「地域モビリティ基礎セミナー」という研修会に参加してきました。これはトヨタ自動車が開発する事業で、モビリティ(移動の利便性)を通じてより良い地域社会の実現を目指すものです。具体的には、移動課題に取り組む人を増やすために、人材の育成やテキストの提供、セミナーの開催。そして全国各地の移動問題を解決するために、事業の支援や助言、活動資金の助成を行っているようです。セミナーの中で特に印象的だったのは、よく先進事例として自動運転などの試

験運行が近隣市町村で導入されているからうちも検討したいとの相談があるそうです。システムでもうまくいかないことが多いとのこと。また、移動支援を考えると全体的に人を救い上げることは難しい。それから少数人数あるいは極端な話〇〇さんが困っているの、そこを支援してみようなどの狭い範囲でも構わないとのこと。岩沢にも自分の住む地域にも当てはまるものが多く大変勉強になりました。・・・(I)

